

UD

Universal Design

ユニバーサルデザイン(UD)について

障がいの有無、年齢、性別、人種、性的指向・性自認等にかかわらず、(日頃はあまり不便を感じずに健康で多数派に所属をして生活をしている多くの方々を含めた)多様な人々が利用しやすいように、都市や生活環境やしぐみを初めからデザインして、ものやサービス提供などに配慮する考え方をいいます。

昨年の4月から障害者差別解消法がスタートをしました。また、今後、高齢化、グローバル化が進展すること等を踏まえると、高齢者、障害者、外国人など様々な区民に対し、その特性を踏まえ、誰もが同様にサービスを受けられるよう、より一層の取り組みが求められています。さらに、オリンピック・パラリンピックを契機に障害者のみならず、多様な区民の特性の理解を促進し、区や区民、事業者等が協働して、誰もが生活しやすく排除をされない社会を目指す機運も高めていくことが求められます。

中野区ではこうしたユニバーサルデザインのまちづくりを実現するため、ユニバーサルデザインについて条例や推進計画の作成を行う予定です。

ユニバーサルデザイン推進についての条例は、日本初の浜松市での条例制定、国の「バリアフリー法」後の日野市や足立区の条例などがあり、段々とより高い水準の条例が作られてきました。「障害者差別解消法」施行後初のユニバーサルデザイン推進条例を作る中野区の条例では「障害者差別解消法」を踏まえたより高い水準が求められます。

なお、私は日野市、足立区、浜松市、京都市への視察を行い各自治体のユニバーサルデザイン推進についての条例制定の経緯や制定後の取り組みについての聞き取りや現地の見学等を行ってきました。

私は、こうしたユニバーサルデザインが見えやすいニーズに対応するだけでなく、不都合を感じていても存在に気付いてもらにくい人、困りごとについて声を上げたり支援を求めたりすることが難しい人、周囲になかなか理解してもらにくい人のニーズにもしっかりと応えていけるしくみづくりを進めること。そして、施策を進める区職員の気づく力や対応する力といったスキルアップを進めていくこと。さらに、区民同士がお互いの違いを尊重しあい、お互いの困りごとにも気づきあい、つまずいた時には支えあうことができる地域づくりをしていきたいと思っています。



不安と孤立を見捨てない 石坂わたるの たつのご通信

http://ishizakawataru.net/
@ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758
【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885(無所属控室)

2017・冬号



石坂わたる
1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校介助員などを経験し、2015年4月、中野区議会議員選挙にて再選(2期目)。精神保健福祉士、行政書士。同性のパートナーと二人暮らし。

平成28年第4回
定例会では、防災、ユニバーサルデザインやバリアフリー、障がい者の就労の支援などについて質問で取り上げました。
すべての人が安全・安心を守られながら様々な場面で活躍することができる地域づくりを進めていきたい。そして、ハラスメントや暴力の被害者が訴えたり相談したりすることもできずに泣き寝入りするような社会にならないようにしていきたいと思っています。

こうした視点で区政を進めるべく議員活動をしています。

- ★老後の不安解消
 - ・家族が介護で孤立する事態を防止するための、介護疲れ解消支援の充実
 - ・要介護度が「要支援1・2」の方や認知症の方向けの支援の拡充
 - ・年齢にかかわらず生きがいや自立のためにその人に合わせた地域活動や仕事ができる社会づくりなど
- ★子育てにおける不安に対する支援
 - ・母親の育児孤立を防止し、両親の育児疲れを解消する支援策充実
 - ・保育所や学童クラブの待機児童ゼロと、病児・病後児保育、休日保育の拡充
 - ・私立を含めた子ども施設における、障がい児や配慮が必要な子どもへの支援拡充
- ★雇用不安の改善
 - ・職場におけるハラスメントやワーキングプア、差別・人権侵害などに対する相談・支援先確保
 - ・女性や障がい者などが働きやすい職場づくりに取り組む企業への支援
- ★災害対策
 - ・木造密集地の更なる解消と不燃化住宅への建て替え支援
- ・避難先となる全施設の電源・飲料水などの備蓄の確保・拡充
- ★特別支援教育や障がい福祉についての取り組み
 - ・勉強が苦手な児童への支援と、いじめ防止
 - ・発達障がいのお子さんのための巡回指導の拡充や成人期に向けた支援
 - ・障がい者が働き、活動できる場の開拓・支援
 - ・慢性疾患(HIV/肝炎等)や難病の診療や支援の充実
- ★生きにくさを抱えた人へのよりそい
 - ・あらゆる暴力・人権侵害のない社会の実現
 - ・障害の有無・年齢・性別・人種や国籍・性的指向や性自認に関わらず、誰もが安全安心なユニバーサルデザイン型社会の実現と多様性の尊重
- ★切り捨てではない、効率化や無駄の削減
 - ・専門性の高い職員、専門性を持つ管理職を増やし、現場視点や住民ニーズを踏まえた効果的な施策の展開
 - ・区職員の長時間勤務の規制・圧縮や業務の効率化による、超過勤務手当(残業代)の削減
 - ・区職員の体調管理や不調の早期発見による、長期間にわたる休職の減少

学習会のお知らせ

2月18日(土) 13:45~16:15
野方区民活動センター
▶西武新宿線「野方」駅下車徒歩5分
「男女共同参画基本計画」
講師 皆川満寿美さん(早稲田大学他非常勤講師)
中野区では来年度改定予定の男女共同参画基本計画について学習します。

予約不要・途中入退場可
資料代100円

メールニュース配信中!

議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。
09wishizaka@mbr.nifty.com
通信を郵送します!

メディアに掲載されました!

自由時報オンライン版
「時力興日議員談新政治」
http://news.ltn.com.tw/news/politics/breakingnews/1929790
台湾の立法院で行われた「東京新生代議員論壇」(時代力量主催)について書かれた記事の中で、石坂についても取り上げられました。

★たつのご通信は年4回の発行をしております。今後の郵送を希望される方はEメール、FAX、電話(不在時は留守番電話をご利用ください)などにてお知らせいただけましたら幸いです。

お話をうかがいます

▶中野区議会内では、無所属議員控え室にいます。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、うかがいます。

ボランティア募集

中野区内でのたつのご通信の配布、郵送準備などをお手伝いしてください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません。(50部程度から可能)

TEL&FAX 03-6304-8758(事務所) または
TEL 03-3228-8885(無所属控室)
MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのご通信(オーディオCD/DAISY CD)をご用意できます。

すべてのお問い合わせはこちら! ↓↓↓ バックナンバーのお問い合わせもこちらまで!
TEL&FAX 03-6304-8758(事務所) または TEL 03-3228-8885(無所属控室)
✉ 09wishizaka@mbr.nifty.com

不安と孤立を見捨てない **石坂わたる**

一般質問(H28.11/28)
平成28年 第3回定例会(11/24~12/8)

災害時に活用可能な貯水槽の有無を踏まえた飲料水の確保をすべき

石坂 災害時の避難所では、施設の貯水槽の有無や貯水容量に応じた備蓄をし、水道の給水方式の変更(貯水槽撤去など)の際は、水備蓄量の見直しも必要ではないですか。

区長 避難所の飲料水の確保は、まず受水槽の水を飲料水に利用します。受水槽が利用できない所ではペットボトル等で備蓄をしています。今後も施設の給水方式の変更を踏まえ、飲料水の確保に努めます。

石坂 避難所指定を受けていない施設を含め、区内施設の貯水槽の水は貴重な備蓄となります。貯水槽の水を飲料水用に優先的に確保できるよう、災害時には、施設内トイレの使用を制限し、貯水槽からの水供給を一旦止めることや、施設利用者への周知が必要ではないですか。

区長 新設の避難所施設は、強い地震が発生すると受水槽の水の供給を遮断し、自動的に飲料水が確保される構造となっています。飲料水確保方法の周知啓発について、今後は施設管理者だけでなく、施設関係者への周知など災害時の飲料水確保にさらに努めていきます。

補足説明

一定以上の高さのある建物への水道水の給水方式には、水道管から直接蛇口まで水を送る「直結給水方式」と、貯水槽からいったん高いところにある水槽に水を揚げてから各蛇口へと水を送る「貯水槽水道方式」があります。「直結給水方式」の方が常に新しい水が供給されるため衛生面では優れていますが、断水時の水備蓄という観点では「貯水槽水道方式」が優れています。



世界自閉症啓発デー「Warm Blue 2016」映像記録発表(東ちづるとさん)

災害弱者の安全安心の強化をすべき

石坂 避難所で、特別な支援や配慮が必要な方や、障がいに伴う声や行動などによる周囲との摩擦を回避する必要がある方に対して、どのような支援をしますか。障がい者や高齢者などのための二次避難所の利用の事前の想定を含めてお答えください。

区長 災害時要配慮者などのための二次避難所が開設された場合、避難者を送るべく避難所運営マニュアルでも定めているところがあります。

石坂 周囲との摩擦を理由に帰宅を考えた場合、障がい者等への対応はどうですか。

区長 避難所から帰宅をしようとする要支援者に対し、「自宅で生活が可能か」を確認の上で戻ることなどを説明し、無理な帰宅は避けるよう努めていきます。

石坂 災害後に「避難をしない」判断をした障がい者や高齢者にどのようにして水や食糧などを届ける想定でいますか。

区長 避難所に取りに来ることが難しい方に対しては避難所運営組織が情報を把握し、ボランティアや避難者の協力によって対応をすることとしています。詳細について今後検討をしてまいります。



パラリンピック競技スポーツ体験会(車いすバスケット体験)

ユニバーサルデザイン、バリアフリー、差別解消を着実に進めるべき

石坂 区役所で働く職員が障がいを持つ区民とのコミュニケーションについて学び、直接障がい者等と触れ合う研修などの機会を設けることが必要ではないでしょうか。

区長 来年度から職員向けの手話講習会を新たに開始します。コミュニケーションや障がい

京都市を視察



京都市。UDの一環で車道よりも広い四車線。歩道と車道の段差も1cm程に

特性に関わる研修を今後も計画的・継続的に進めます。また、施設や当事者に協力をいただき、直接ふれあうことを盛り込んでいきます。

石坂 社会におけるバリアに対し、不都合を感じている様々な人からの声を聞き、情報の共有化や必要な取り組みを行うこと。事業者に理解や必要な取り組みを求め、物理的バリアの解消や、接遇・介助の水準を高める必要があると思います。

区長 特定の障がい者に限らず広く様々な人からのバリアフリーに関する情報収集や情報の共有化の推進に努める必要があります。また、事業者などに対して接遇介助に関する知識や技術を身につける研修などの充実を働きかけることにより、接遇介助水準の向上に努めることが必要だと考えます。

石坂 ユニバーサルデザイン推進条例やその具体化を進めるユニバーサルデザイン推進計画では、バリアフリー法や差別解消法が求めている対象や水準を下回らない内容を定める必要があると思われれます。

区長 ユニバーサルデザインは誰もが障壁を感じることなく活動することができる街を目指しています。障がいに伴う障壁以外の解消も包



丸井本社で行われたOut In Japan写真展(石坂の写真は上から4段目、右から5枚目の写真)

含し、障害者差別解消法の範囲を超えたものと考えます。

石坂 その取り組みを行う予算確保や、行った取り組みの評価・検証などさらなる取り組みが必要ではないですか。

区長 基本的な考え方とこれを踏まえた推進計画を策定するとともに、評価・改善の仕組みを整えるしくみがいると考えております。

ユニバーサルデザインについての説明は4ページをご覧ください。



江古田こどもまつり



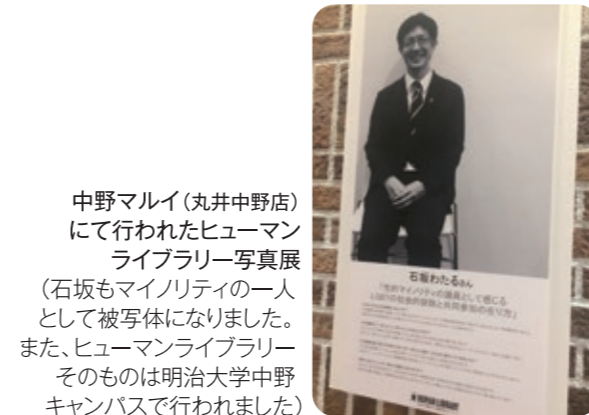
厚生委員会で湖南市を視察

障がい者の雇用や仕事の創出を

石坂 区の職員や委託先の職員が障がいを持つ場合にも不都合が生じないよう区役所内の環境整備や、区役所を利用する区民への理解促進・啓発が必要ではないですか。

経営室長 現在の区役所庁舎では複数の多目的トイレの整備や本庁舎玄関前広場段差をなくす環境整備を行ってきました。今後も職場環境の改善に努めます。また、区では現在55名の障がいのある職員が様々な部署で業務に従事しています。今後区の障がい者雇用の状況を、周知し、障がい者雇用に関する理解促進に努めます。

石坂 現区役所にあるような福祉売店などを新



中野マルイ(丸井中野店)にて行われたヒューマンライブラリー写真展(石坂もマイノリティの一人として被写体になりました。また、ヒューマンライブラリーそのものは明治大学中野キャンパスで行われました)

区役所にも設けるとともに、障がい者がパンの販売をしたり、接客をするふれあいの場として、テーブル席に座って飲食ができるようにしてはどうか。

経営室長 新しい区役所でも、障がい者の就労を支援し、障がい理解を深められるコーナーを確保し、効果的な活用が必要だと考えています。

石坂 区役所の清掃業務などの委託事業者選定については、障がい者の法定雇用率の順守は当然のこと、障がい者の雇用や配置を積極的に進めることが望まれると思いますがいかがでしょうか。

経営室長 公共調達を行う評価の中で障がい者雇用率の達成度を見ています。今後の委託事業については、事業の性質など、業務の分析を行い、研究していきたいと思っております。



浜松市視察

厚生委員会(11/14、11/30、12/1)

●東中野小学校の跡地の一部を使って作られる民間住宅について、乳幼児親子の交流に活用可能な交流スペースが作られ、イベントを通じた地域住民と居住者との交流機会の創出が当面行われるとのことでした。

しかし、「当面」では一定期間後に交流の機能が失われてしまう可能性があるため、区から民間事業者に対する働きかけを継続的に進めてもらうよう要望をしました。

●今後計画をされている新体育館は障がい者スポーツに対応をした床になる予定であることから、障がい者の団体での利用が考えられます。障がい者が利用可能なトイレや更衣室について面積や設備が十分整った形での整備を求めました。

●平成24年から民間による委託(指定管理)となっている中野福祉作業所について公務員による区直営ではなく、民間が担うことで起こった変化や現状への評価について質問をしました。健康福祉部副参事(障害福祉担当)から

- ①利用者の数が6名ほど増加。
- ②社会福祉士、精神保健福祉士、看護師を必ず置くなど、人員配置が手厚くなっている。
- ③「十五や」という売店を毎日開くようになっている。
- ④利用者が店頭で販売も行っている。
- ⑤地域との交流も活発になっている。

点が評価できるとのことでした。

●いずみ教室(知的障害者青年教室)の廃止とこれに代わる新事業の立ち上げについて、利用希望者数に対応できる定員の確保や、午前・午後を通じた参加を可能とすることを求めました。また、この新事業だけでなく知的障がい者の土日、あるいは仕事がない時間帯などの受け入れ場所や居場所を拡充するよう要望しました。

●オリンピックパラリンピック気運醸成のための小中学校での事業について、障がい者スポーツをただ知るだけでなく障がい者と一緒にスポーツを楽しむ機会を作っていくよう求めました。

●高齢者の地域包括ケアを進めるにあたり、40歳から64歳の特定疾病を抱えた第2号の被保険者の方が地域包括ケアの対象となることから高齢者会館の利用対象年齢(現在は60歳以上)の再検討を求めました。



弥生町6丁目の広町遺跡にて

石坂わたるの活動報告



- 10月2日 いずみ教室スタッフ、中野区花と緑の祭典、まるごと建フェス、世界自閉症啓発デー「Warm Blue 2016」映像記録発表会
- 10月4日 医師会との懇談会
- 10月6日 地域活動担い手養成講座
- 10月7日 生涯学習サポーターの会懇談会
- 10月8日 谷戸ほのぼのファミリー合唱団練習、中野にぎわいフェスタ、東中野幼稚園運動会、パラリンピック競技スポーツ体験会、ポニー、マインドサッカー、車いすバスケット
- 10月9日 南中野地区まつり
- 10月10日 中野みなみ保育園運動会
- 10月12日 コーピング「みらい広場」
- 10月15日 新山小学校運動会、障害者会館まつり、こころまつり、谷戸小学校運動会、野方地区まつり、中野福祉作業所まつり
- 10月16日 東部まつり運動会
- 10月17日 11月17日、12月14日 ユニバーサルデザイン推進協議会を傍聴
- 10月21日 聖オタヴィア乳児院の病後児保育について見学、こころレポート、江古田こどもまつり、区立第四中学校、校中祭
- 10月22日 南中野地区運動会、かみさぎこぶし園こぶしフェスタ、バル、いろとりどり学習会「障害のある子の思春期支援について」、中野明るい社会づくりの会若宮グループ「福祉バザー」
- 10月23日 区議会にて韓国ソウル特別市陽川区訪問団受け入れ
- 10月26日 スマイル会館にて障がい者施設の製品展示卸売会
- 10月29日 特別支援学級連合運動会、東北復興祈念展
- 10月30日 協議会厚生委員会で湖南市を視察
- 11月1日 区議会厚生委員会で近江八幡市を視察、在宅医療連携拠点事業、「福祉トータルサポートセンター 基本構想」産業交流展
- 11月2日 (区内事業者のフェスを見学)
- 11月3日 第二中学校文化発表会、いねこの手学習会
- 11月4日 コーピング「みらい広場」、名譽区民顕彰式
- 11月5日 duofestバル
- 11月5、13、26日 災害ボランティアセンターの運営スタッフ養成講座
- 11月6日 軽可搬消火ポンプパケツ操法大会、フェスタ公開
- 11月7日 東中野西口桜並木の樹木診断についての説明会
- 11月8日 超福祉展
- 11月9、10日 障害者対応要領意見交換会を傍聴
- 11月12日 新山小学校展覧会、第四中学校特別支援学級の授業と投票教育の授業を参観、地域福祉推進フォーラム、オンラインバルフェスタ、四季祭、ライブガイド
- 11月13日 中野区総合防災訓練
- 11月15日 MOKU WITTOBの発表をした丸井本社1階におけるLGBTに関する写真展示「OUT IN JAPAN」を見学
- 11月16日 私立幼稚園連合会結成70周年父母連60周年祝典
- 11月17日 ユニバーサルデザイン推進等について日野市を視察、若手議会議員の会で武蔵野市を視察、子育て支援
- 11月18日 明治大学ヒューマンライブラリーユニバーサルデザイン推進等について足立区を視察
- 11月19日 ハラシニック気運醸成事業「ポツチャ&ライオン」ワークショップ体験会
- 11月21日 若手議会議員の会で浦安市視察、東京行政書士政治連盟会員議員総会
- 11月21、28日 カナタ大使館レセプション
- 11月23日 特別支援学校旭出学園労感謝祭、講演会「犯罪被害者遺族の想い。支援される側から支援する側になろう」
- 11月24日 新井業師まつりづくり協議会を傍聴
- 11月29日 New Kostume「LGBT」にゲストスピーカー
- 12月3日 中学校PTA連合会卓球大会いろいろとりなかのドリームトークイベント「私たちはここにいたいよ」中野立教会、立教会同窓会クリスマス会
- 12月4日 建築士事務所協会中野支部忘年会
- 12月6日 足立区立栗島小学校における多様性についての授業研究会
- 12月10日 広町遺跡(弥生町6丁目)発掘公開
- 12月18日 いずみ教室、世界人権デー「パーティー」
- 12月19日 ユニバーサルデザイン推進について京都市視察
- 12月20日 ユニバーサルデザイン推進について浜松市視察
- 12月24日 中野桃園教会クリスマス礼拝
- 12月25日 南台二丁目原町会夜宵
- 12月27日 台湾時代力量主催「東京新世代議員論壇」にスピーカー、台湾伴侶權益推動聯盟の見学と懇談